

軍事力強化5年以内

政府「骨太の方針」に盛る

政府が7日に閣議決定を自損する経済財政運営の基本指針「骨太の方針」に「防衛力を5年以内に抜本的に強化」と盛り込んだことが3日、分かりました。「5年間で国内総生産（GDP）比2%」を念頭に軍事費の大幅増額を求める自民党の提言を反映させました。

政府は3日の自民党政調全体会議に、先月31日に公表した「骨太方針」原案の修正版を提示。週明け6日に再び議論します。

修正版は、北大西洋条約機構（NATO）諸国が国防予算をGDP比2%以上とする目標の達成を急いでいると強調。「防衛力を5年以内に抜本的に強化する」と明記し、来年度予算の軍事費については、年末に予定する国家安全保障戦略の改定などを踏まえて「必要な措置を講じる」と書き込みました。

軍事費については、自民党内で大幅増額を求める圧力が強まっています。2022年度当初予算の軍事費は約5・4兆円。GDP比は1%弱で、5年以内に2%へ引き上げるには毎年1兆円程度の増額が必要となります。

修正版は、北大西洋条約機構（NATO）諸国が国防予算をGDP比2%以上とする目標の達成を急いでいると強調。「防衛力を5年以内に抜本的に強化する」と明記し、来年度予算の軍事費については、年末に予定する国家安全保障戦略の改定などを踏まえて「必要な措置を講じる」と書き込みました。